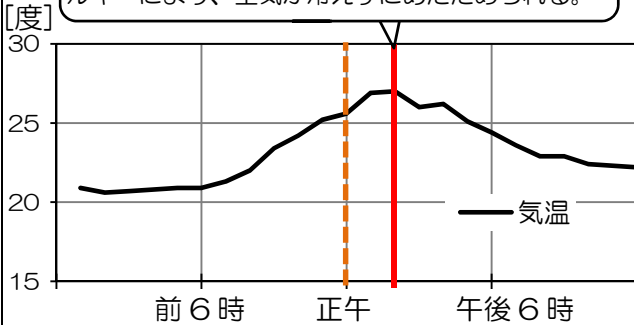


夏のあつさ ~熱中症に気をつけよう~

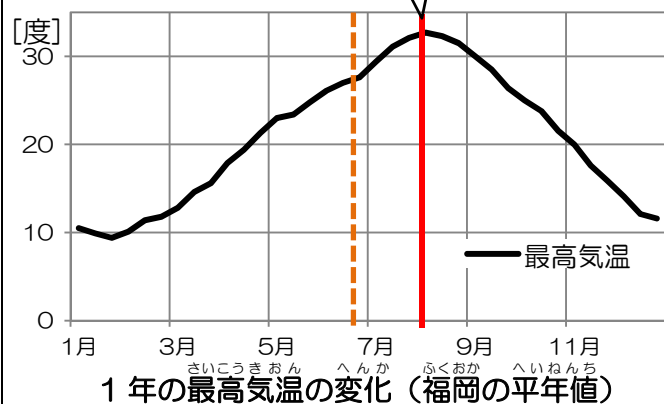
夏はなぜあつい

あつさの主役は太陽です

正午を過ぎても午後2時ごろまでは、太陽のエネルギーにより、空気が冷えずにあたためられる。



夏至を過ぎても8月のはじめごろまでは、太陽のエネルギーにより、空気が冷えずにあたためられる。



6月のある晴れた日の1日の気温の変化をしらべると(左上の図)、太陽の高さがいちばん高くなる正午ごろではなく、午後2時ごろに1日のうちいちばん気温が高くなりました。1年の気温の変化を見ても(左下の図)、これと同じように、昼間の時間がいちばん長い夏至(今年は6月21日)ではなくて、8月のはじめごろにいちばん気温が高くなります。

春から夏にむかって、太陽がでている時間が長くなり、昼間あたたまることが、毎日へりかえられて、空気がだんだん温まっています。



2014年	7月7日	月曜日
平成26年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

<<お天気 Q&A>>

Q: これまでの福岡の最高気温は何度ですか?

A: 福岡の最高気温の記録は、2013年8月20日に観測された37.9度です。1890年の観測開始から124年になる福岡の観測では、去年の夏がいちばん高い気温が観測されました。

日本でいちばん高い気温は2013年8月12日に高知県で観測されました。

何度だったのか? 気象庁ホームページでしらべてみましょう。

気象情報へのアクセス

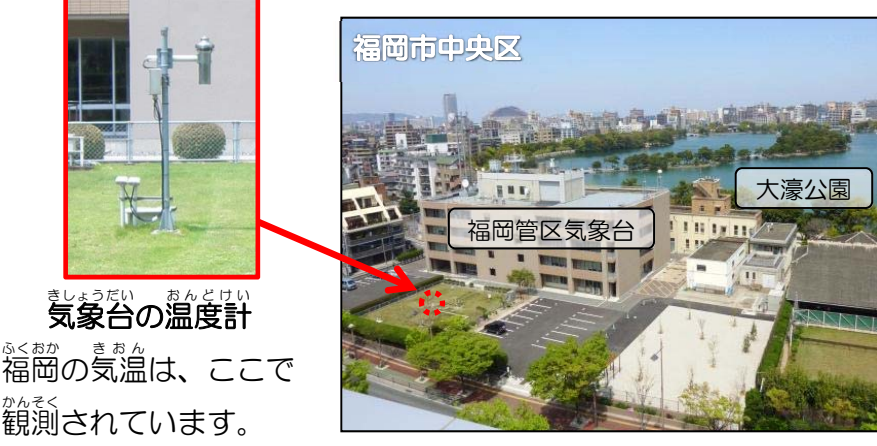
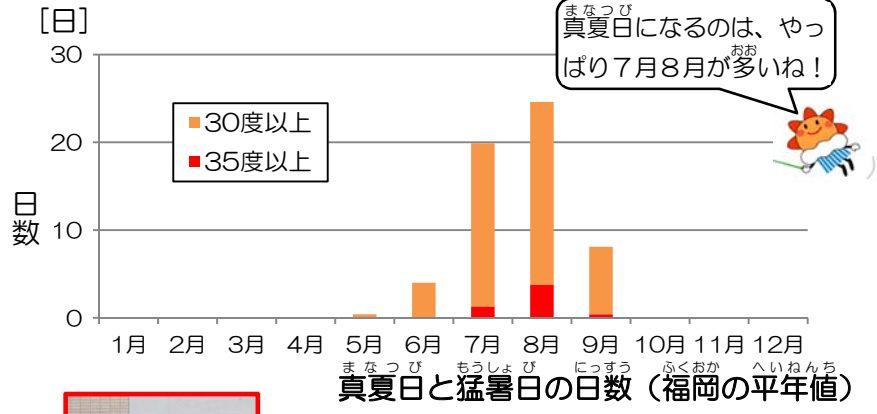
災害から身を守ろう	検索	
歴代全国ランキング	検索	

福岡の夏はやっぱりあつい!

福岡の真夏日

1日の最高気温が25度以上の日を夏日と言います。30度以上の日は真夏日、35度以上の日は猛暑日と言います。

右上のグラフを見ると、7月と8月は30度以上となる真夏日の日がほとんどで、35度以上となる猛暑日も数日あります。



気象台の温度計

福岡の気温は、ここで観測されています。



- 梅雨のあいまや、梅雨明けしたあと、急に晴れてあつくなることがあります。
- あつい日は室外、室内ともにこまめに水分をとり熱中症を防ぎましょう。
- 最高気温が35°C以上になることが予想されると、気象台からは高温注意情報を発表して注意を呼びかけます。

気温をはかる場所

気温をはかる場所には条件があります。①芝生の上などで、②高さは地面から1.5mくらい、③日かげで、④風通しの良いところではかるなどです。気象台でもなるべく自然な環境で、風通しの良い場所で気温の観測はおこなわれています。

天気予報で発表している最高気温もこのような場所の気温を予想していますので、環境によってはさらに気温が高くなることに注意が必要です。

